



山中湖に源を発し、山梨県の東部を東に流れ、神奈川県中央部を南下して相模湾に注ぐ桂川・相模川は、山梨・神奈川両県民にとって母なる川です。

この水が、実は富士山からもたらされていることは、あまり知られていません。

桂川・相模川の水は、遠い昔から多様な生き物を育み、流域の人々の暮らしと文化を支えてきました。

「清く豊かに川は流れる」

ひとたび川のほとりに立てば、県境も市町村の境も存在しない。

桂川・相模川の水は、流域住民はもとより、神奈川県民 900 万人の飲み水の 6 割をまかなう、かけがえのない水であり続けている。

源流に暮らす人々は、桂川の水が下流に暮らす人々の飲み水になっていることを自覚し、少しでも水を汚さないよう、その責任を果たしたい。

下流に暮らす人々は、水を使う時には、源流に暮らす人々の生活と水への気遣いを思い、感謝の気持ちを持って大切に水を使いたい。

世界文化遺産である富士山から流れ出る桂川・相模川の流域環境を、子や孫に誇れるように、私達の手で少しでも良くするため、それぞれができることを、今日この日から始めよう。

2013年（平成25年）10月26日

（ 2013年度 流域シンポジウム ）

桂川・相模川流域協議会  
山中湖村